

総合人文科学研究センター研究部門 活動報告書

研究部門名	拡大するムスリム社会との共生
代表者氏名	五十嵐大介
<1> 2019年度活動報告（出版・研究会・講演会等） 2019年度は以下の研究活動を行った。 ・世界規模で展開する国際学会の年次大会である、第6回国際マムルーク会議（6th Conference of the School of Mamluk Studies）を The School of Mamluk Studies および早稲田大学文学部・大学院文学研究科中東・イスラーム研究コースと共催した（6月15日-17日、早稲田大学国際会議場）。それに先立ち、エマード・アブー・ガズィー教授（カイロ大学）を講師に招聘し、ポスドク・大学院生向けの集中セミナー、マムルーク文書セミナー（Mamluk Archival Documents）を実施した（6月12日～14日、33号館第10会議室）。なお本会議の運営に当たっては、総合人文科学研究センターより研究部門に対する支援を受け、運営のための研究補助者一名の雇用とポスター・チラシの印刷のための費用を賄った。 ・Yehoshua Frenkel 博士（University of Haifa）、Koby Yosef 博士（Bar-Ilan University）講演会を、早稲田大学文学部・大学院文学研究科中東・イスラーム研究コース、科研費基盤C（18K01008）、早稲田大学特定課題研究助成費（2019C-094）と共催した（6月18日、39号館第7会議室）。 ・早稲田大学多元文化学会 2019年度春期大会・シンポジウム「アラブ音楽から見る世界」を、早稲田大学多元文化学会、早稲田大学文化構想学部多元文化論系、早稲田大学総合人文科学研究センター「グローバル化社会における多元文化の構築」部門と共催した（6月27日、36号館581教室）。 ・Julien Loiseau 教授（Aix-Marseille University）講演会“Seeking for Early Islam in Ethiopia: Landmarks for a Connected History of the Horn of Africa in the Middle Ages”を、早稲田大学文学部・大学院文学研究科中東・イスラーム研究コース、科研費基盤C（18K01008）、早稲田大学特定課題研究助成費（2019C-094）と共催した（11月5日、39号館第7会議室）。	

- ・ Julien Loiseau 教授講演会“Wealth Transmission and Familial Strategies in Fifteenth-century Egypt: Reappraising Women’s Position According to Endowment Documents”を、早稲田大学文学部・大学院文学研究科中東・イスラーム研究コース、科研費基盤 C (18K01008)、科研費基盤 B (17H02381)、早稲田大学特定課題研究助成費 (2019C-094) と共催した (11 月 9 日、39 号館第 5 会議室)。
- ・ 定期研究会「イブン・ハルドゥーン『自伝』研究会」(代表・佐藤健太郎〈北海道大学准教授〉) を、科研費基盤 B (18H00719) との共催により、中東・イスラーム研究コース室にて開催した (4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 9/28)。この研究会では本研究部門の招聘研究員三名が特に尽力した。
- ・ 定期研究会「イブン・シーナー『治癒の書』研究会」(代表・小林春夫〈早稲田大学非常勤講師、東京学芸大学教授〉) を、中東・イスラーム研究コース室にて開催した (6/22, 8/3, 9/12, 10/9, 11/16, 12/21, 3/21)。
- ・ 本学の学部生・院生による「アラビア語史料輪読会」(代表・杉本悠子〈早稲田大学助手〉) を中東・イスラーム研究コース室にて定期的に開催した (4/24、5/7、5/21、6/4、7/16、7/30、8/6、8/26、10/1、10/8、10/29、11/26、12/10、1/7、2/4、2/25)。
- ・ 中東・イスラーム研究に従事する若手研究者を糾合した定期研究会を、「イスラーム地域研究若手研究者の会」と共催して早稲田大学戸山キャンパスにおいて開催した (6/1, 7/20, 11/30)。
- ・ 6 月 20 日、フレデリック・ボダン教授(リエージュ大学)による中東都市研究についてのセミナーを中東・イスラーム研究コース室にて開催した。アントネッラ・ゲルネッティ教授(ヴェネツィア大学)からも参加した。